

株主のみなさまへ

2007年9月

当社は、全事業活動で次々とイノベーションを創出し、利益ある持続的成長の実現を目指しております。

今回は7月27日に発表した今年度第1四半期決算を中心に7月末までの活動についてご報告いたします。

- ・売上高 1兆6,646億円 前年同期比 +2,118億円
- ・営業損益 212億円 前年同期比 +4億円
- ・当期純損益 206億円 前年同期比 +166億円

と前年同期比で増収増益となりました。営業損益212億円、当期純損益206億円は、いずれも第1四半期の最高益です。

部門別にみますと、売上高は全部門で増収となりました。営業損益は、デジタルプロダクツ部門が悪化したものの、半導体を中核とする電子デバイス部門が引き続き堅調に推移して増益となり、社会インフラ部門も減益ながら黒字を確保しました。この結果を踏まえて、中間期の業績予想を上方修正いたしました。今後も計画達成に全力で取り組んでまいりますので、引き続きご支援をお願いいたします。



代表執行役社長 **西田厚聰**

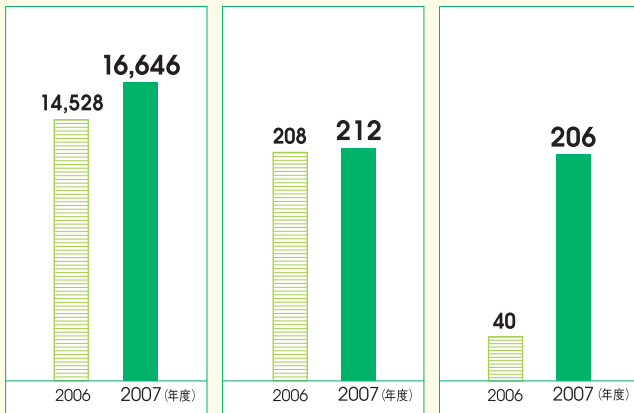
ご案内

本通信は、2007年3月末時点での株主のみなさまにお送りいたしますことをご了承ください。

2007年度第1四半期決算の概況

単位:億円

連結売上高 連結営業損益 連結当期純損益



- 売上高 全部門で増収
- 営業損益 デジタルプロダクツ部門が悪化したのが電子デバイス部門は堅調に推移し増益
- 当期純損益 営業損益および営業外損益の改善により大幅増益

ご参考:2007年度中間期業績予想

	7月27日修正	期初予想比	前年度比
売上高(億円)	36,000	+1,000	+4,380
営業損益(億円)	700	+300	+48
当期純損益(億円)	400	+300	+12
1株当たり当期純損益(円)	12.44	+9.33	+0.36

決算説明会動画配信中 <http://www.toshiba.co.jp/about/ir/>

決算 Q&A

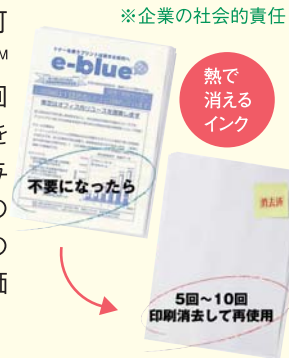
質疑応答

個別事業の営業損益の概況を教えてください。

当期の営業損益では、前年同期比で、パソコン、半導体、電力システム、産業システム、医用システムが好調でした。携帯電話、HDD(ハードディスク装置)は減益で、液晶は悪化しました。また、照明が不調でしたが空調が堅調に推移しました。

CSR 事務所の紙使用量削減に適した 消去可能インクが環境大臣賞を受賞

当社が開発・製品化した消去可能インク「消せるトナー e-blue™ (イーブルー)」がこの度、第34回環境賞「環境大臣賞・優秀賞」を受賞しました。環境保全に寄与する画期的な技術、これまでの紙削減実績、今後の社会への広がりへの期待などが高く評価されました。



※企業の社会的責任

熱で消えるインク

不要になったら

5回~10回印刷消去して再使用

株主通信へのご意見・資料請求

- ホームページ <http://www.toshiba.co.jp/about/ir/> 「お問い合わせ」ページからお送りください。
- 書面 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1 株式会社東芝 広報室 へてお送りください。

*本株主通信に記載されている事項には、将来についての計画や予想に関する記述が含まれています。実際の業績は当社の予想と大きく異なることがありますことをご承知おください。





親展

まずこちらを
1 開く 濡れている場合はよく乾かしてからめくってください

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

株主通信 2007年秋号

株主のみなさまと東芝をつなぐ情報誌

株式会社 東芝

株主名簿管理人 事務取扱所

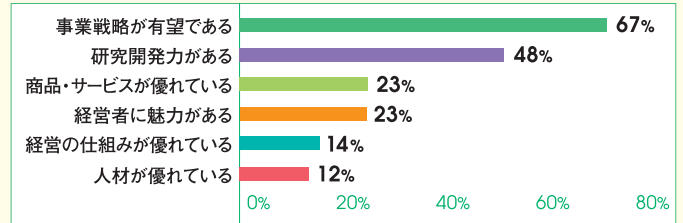
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (証券代行事務センター)
郵便番号168-0063 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)

「経営方針・中期計画」ホームページアンケート集計結果 (抜粋)

実施期間 6月1日~30日
回答者数 109人

アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。結果は今後の経営の参考にさせていただきます。

■ 発表内容をご覧になり、東芝をどのように評価されますか? (複数回答可)



■ どのような企業イメージをお持ちになりましたか?
「総合的に高く評価」に続いて「時代を切り開く事業に期待できる」、「将来ビジョン有り」、「チャレンジ精神有り」が多く選ばれました。

■ どの事業に注目されていますか?
「原子力事業等の電力システム」が1位となり、2位の「半導体」を大きく上回りました。「燃料電池等の次世代電池」、「液晶・有機EL等の映像表示部品」、「医用システム」が続きました。

■ 魅力を感じる点、魅力に欠ける点は? (自由記述)

魅力を感じる点	「積極的な経営」、「挑戦・チャレンジ」、「明確な方向性・ビジョン」といった記述が多く、「原子力事業への取り組み」も多数ありました。
魅力に欠ける点	家電(含むデジタル家電)の商品力不足を懸念する声が多く、宣伝力不足の声も複数ありました。

※より詳細は当社ホームページの「投資家情報」サイトをご参照ください。


▶▶ ここに注目

6月5日 発表 光学式ドライブを搭載し、世界で初めて900gを切ったモバイルノートPCを発売

フラッシュメモリ搭載型で重さ848g、HDD搭載型でも重さ959g、最薄部19.5mmと、世界最軽量*1、最薄*1を実現したモデル等を発売

*1 2007年6月5日現在、当社調べ

「dynabook SS RX1」



ウェスチングハウス社グループ*2買収後の原子力事業について (7月末現在) *2 WEC

4月30日 発表 カザフスタン共和国国営企業との相互協力推進に関する覚書を締結

原子燃料事業、原子力発電所建設事業の分野での互恵的協力関係を構築

7月23日 発表 WECが南アフリカ共和国 IST社*3 原子力部門を買収

同国で事業拠点を確保し、推進中の高温ガス炉の開発、新規建設計画への次世代原子炉「AP1000」の受注活動を推進

*3 IST Holdings (Pty) Ltd. 原子力等のエンジニアリング企業グループ

7月24日 発表 WECが中国での原子力発電プラント4基の建設について正式契約を締結

東芝グループ入り後、初の大型建設受注、2009年から順次着工